

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表（令和7年度）

法人名	(株)生活サポーターふるまい	代表者	皆川 敬	法人・事業所の特徴	小規模多機能ふるまい村は介護福祉士が7割超と経験豊富な職員や認知症対応についての研修修了者も勤務しています。その専門性を活かし、生活に介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう支援を行っています。介護度が上がり、自宅生活が難しくなった場合でもその方に合ったご利用形態を組み合わせることでご利用頂いています。
事業所名	小規模多機能ふるまい村	管理者	高橋 徹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	3人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 情報の用紙が準備できたタイミングで新規ファイルへ入れ、チーム内で把握に努める ファイル忘れがないよう窓口である管理者、介護支援専門員はお互いに確認をしていく 	<p>新規情報周知について早期の情報伝達に努めたが、利用直前になってしまうこともあった。交代制勤務もあり、全体の周知には時間を要する現状把握ができた</p>	<ul style="list-style-type: none"> スタッフの意見がきちんと記載されていた 改善計画を評価の時だけでなく日常的に意識して取り組めると良いと感じます 事業所評価「～したいの実現」項目でのスタッフコメントで「本人ではなくご家族の希望を優先してしまっている背景がある」という点が気になりました。したいことが明白でない方もおられるためフツとした時に本音や希望が聞けると思います 	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有について新規、既存登録のかたの更新情報を勤務時に確認し、習慣化していけるよう努める 日々の関わりからご本人の思いをお聞きし、表出が難しいかたのサインも見落とさないよう意識していく。また、家族の思いと照らし合わせ、納得いただける利用やケアにつなげていく
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 活動について7年度はお客様個々に合った活動を(外出、レク、作品づくり)さらに提供できるよう計画、実施していく ボード管理は係活動と位置づけ環境整備にあたっていく 	<ul style="list-style-type: none"> レクについて、当日の通い、泊まりのお客様の顔ぶれ毎に内容を選別し、興味の湧く活動を意識した 担当職員を中心に個別的になじみ、関心のある活動が提供できた ボード管理は係活動化できず、固有の職員が関わる結果となってしまった 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所訪問時は特に不快感は感じませんでした。地域の方が事業所に入りやすい工夫は難しいと思いますが、まずは気軽に相談できる場所という認知が広がれば良いかと思えます 設えなど環境整備されていました。会議資料に活動の様子写真もあり、分かるようにされていました 「居心地の良さ」は個人的には好評価と感じます 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域の相談窓口」として気兼ねなく相談してもらえるよう掲示物等で表記し、認知拡大を目指していく 衛生、居心地、活気など環境整備を継続し不快な思いにつながらないよう意識していく。年度中のお客様へのアンケートを実施し、評価を確認していく
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を行った上で、安全な外出の機会を計画していく ドライブでの気分転換だけでなく見附地域の資源活用し、地域交流を企画していく 	<ul style="list-style-type: none"> 手指消毒、体調確認を行った上で外出レクを実施した 地域イベント(今町風合戦、見附まつり民謡流し、葛巻フェスタ、夜間イルミネーション観覧など)へ積極的に参加し、地域の方とも交流することができた 	<ul style="list-style-type: none"> 地域イベント等に利用者の外出の機会を企画するのは非常に良いと感じます。反面交通上の危険も伴い、利用者の安全も重要ですがスタッフのストレスにも留意下さい 地域イベント(見附まつり、葛巻フェスタ等)の参加により地域資源を活用されていたと感じます 葛巻フェスタでの作品展示や認知症行方不明者捜索模擬訓練への参加ありがとうございました。今年もぜひ参加お願いします 立地条件から建物が分かりにくいですが「フローラの隣」と言われれば理解できるので、目立つところに目立つ看板などがあると認知度も上がるのではないのでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域イベントについて事業所で検索する他に、運営推進会議や地域の方からの情報提供を活かして、資源利用や地域参加につながる活動を企画していく。また、交流の機会につなげていく ボランティア協力の機会を検討、企画していく

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間個人研修に職員個々が知らない「地域資源」や「自費サービス」の学ぶ機会を設定する ・介護会議や日々のカンファレンスでお客様への必要なサービスについて話し合う機会を設け、理由や協議内容を共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源やインフォーマルサービスについては満足いく学びまではいかなかった ・お客様に必要なサービスについての協議は随時行えたが、コスト、環境、家族の理解などの側面もあり実践できないものもあった 	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しい中なかなか外へ出る機会は大変ですが、自事業所の課題と捉えて取り組まれていると感じます ・社会資源について分からないことがあれば包括支援センターにもご質問下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源や地域資源など分からないことを学ぶ機会をスタッフ個々に設定していく(運営推進会議の活用、外部研修参加、個人別研修で取り上げる、など)
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を通し、防災意識と緊急時の対応想定の確認、共有をしていく(F.の事項も含む) ・会議に参加したことのない介護、看護職員が参加をしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・時季節的な災害について運営推進会議でも触れながら注意、留意すべき点を共有することができた ・自事業所、他事業所含め介護職員も会議参加をすることができ、意見や議事内容の共有ができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身は直接的な介護の経験が少なく、改善につながるような意見は少ないですが会議に参加されている方の意見を聞くことでとても勉強になります ・現場の介護職員の参加もあり、活発な意見を聞くことができました ・会議資料は報告と説明が主のため改善意見が反映されているかが分からない部分があります。実行と検証が載せられていると分かりやすいかと思います 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して介護、看護職員も会議に出席し、意見交換や情報収集の機会としていく ・会議内の意見を受けて取り組んでいることなどを資料に反映し、定期会議時に状況報告をしていく
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会社内の防災委員と連携し、定期的にBCPの更新を行っていく ・登録者の変動に応じて有事の対応方法を検討していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に自宅単身者の有事避難優先度等を更新した ・「水害」「大雪」「地震」で対応が異なるため協議検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・工業地帯であるため福祉企業同志連携できたと感じます ・防災計画、訓練は適切に行われていると思うので、その内容が事業所外にも開示されると更に頼れる存在になるかと思えます。近隣施設との合同訓練や研修が行えると地域の強みにもなるかと感じます ・災害はいつ起こるか分からないので「頼りになる」というよりも地域全体で防災に努めていくべきだと思います 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、BCP更新を定期的に実施し、有事の際の備えとしていく ・自然災害発生の可能性が高まる時季前の会議に議題として取り上げ地域での対策の協議をしていく